

看護部

12階病棟

12階病棟は総合内科，呼吸器内科を有する57床の病棟です。総合内科は急性期治療に限らず，高齢者のケアが重要となります。そのため，身体的・精神的なアセスメントをするためにも疾患に対する治療・看護まで幅広い知識が必要になります。定期的に勉強会を行い，スタッフが知識の習得から実践に生かせるよう取り組んでいます。また，高齢者ケアの中で退院支援はとても大切です。日常生活動作の低下防止から維持する為に日々，看護ケアを行っています。

また，呼吸器内科は放射線治療を受ける患者さんの看護ケアやIVR，気管支鏡などの検査前後の看護ケアを行います。癌患者さんの看護で終末期に接する機会も増えました。急性期の患者さんと関わりながらも終末期の患者さんと関わる難しさを感じる事もありますが，カンファレンスを行い情報共有やケアの統一化を図るようにしています。

看護体制としては固定チームナーシングを実践しています。また，継続受持ち制を取り入れ，患者さんの個別性に合わせた看護が展開できるよう努めています。また，チーム内でカンファレンスを実施し看護計画の立案・見直しを行っています。今後も患者さんのニーズに応え，安心して各々の生活に戻れるような看護ケアを実践していきます。